

製品名: CEBPA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81120**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 42kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CEBPA |
| 別名 | CEBP; C/EBP-alpha |
| 遺伝子 ID | 1050.0 |
| SwissProt ID | P49715 |
| 免疫原 | ヒト CEBPA の合成ペプチド (AA: C-RKSRDKAKRNVETKV)。 |

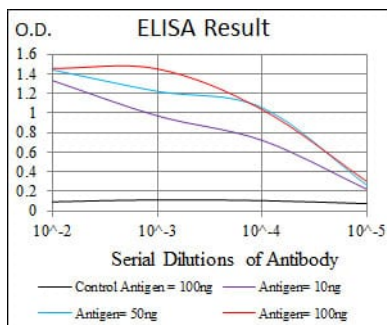
背景

このイントロンレス遺伝子によってコードされるタンパク質は bZIP 型転写因子であり、特定のプロモーターおよびエンハンサーにホモ二量体として結合することができます。また、関連タンパク質である CEBP-beta および CEBP-gamma とヘテロ二量体を形成する

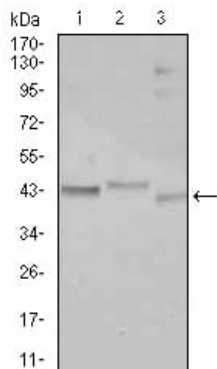
こともできます。コードされているタンパク質はプロモーターに結合し、体重の恒常性維持に重要な役割を果たすタンパク質であるレプチンをコードする遺伝子の発現を調節することが示されています。また、コードされているタンパク質は CDK2 および CDK4 と相互作用し、これらのキナーゼを阻害することで、培養細胞において増殖停止を引き起こすことができます。

研究分野

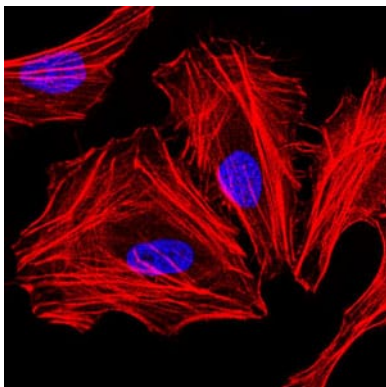
画像データ



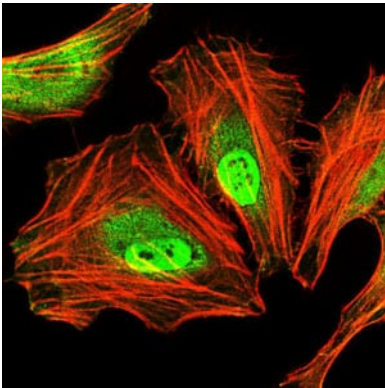
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



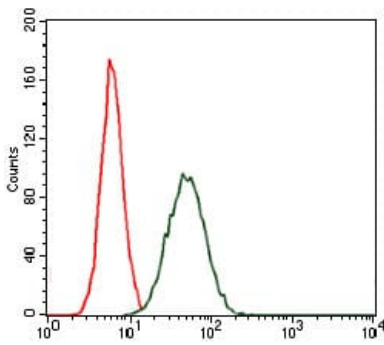
CEBPA マウス mAb を用いた Jurkat (1)、k562 (2)、および HepG2 (3) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット分析。



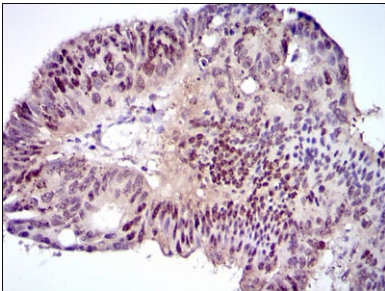
HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CEBPA マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CEBPA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



CEBPA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸組織の免疫組織化学分析。